

令和6年10月吉日

保護者 様

岐阜市立青山中学校
校長 平塚 剛

令和6年度 全国学力学習状況調査を踏まえた青山中の教育の方向について(お知らせ)

平素は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、見出しの調査結果につきまして、本校の結果とその結果を下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。3年生には個人票もお渡しするので、お子様の今後の学習に活かしていただくようお願いいたします。

記

調査の概要

(1)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、さらに学校における児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善策に役立てる。また、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2)調査の内容等 対象：3年生 実施日:令和6年4月18日

【教科に関する調査：国語・数学】

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力等を調査するための問題が出題されています。

【質問紙調査】

例年同様に調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査が実施されました。

1 調査結果

教科	国語	数学
全国正答率	58.1%	52.5%
岐阜県正答率	60%	54%

本校の平均正答率は、全国と比べてたいへん良好でした。また、今後さらに重点をおいて学習をするとよい課題点について次に述べます。

2 結果分析から見た今後の課題

【国語】資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことに課題が見られました。日頃から文章を書いて表現したり、説明したりする活動を通して身に付けていく必要があることがわかりました。

【数学】応用問題や事象を説明する力を図る問題の正答率に課題が見られました。基礎的な学力は身に付いていますが、結果や判断の理由を説明する力を授業の中で定着していく必要があることがわかりました。

3 学習活動の改善の方向

(1)前期の成果と課題

○小集団学習をどの教科でも取り入れることで、分からないことなどを仲間に聞きながら交流を行うことができた。

●授業の中での発話量に差が見られる。小集団交流において生徒の発言量を確保し、より表現力を養うことができる交流をする必要がある。

●家庭学習の内容を自分で計画したり主体的に学習に取り組んだりする家庭学習には至っていない。



(2)後期以降の改善

- ・「仲間に伝える活動」を増やし、自分の考えを仲間にわかりやすく説明する力が身に付くよう授業を行う。
- ・様々な学習方法を積極的に取り入れ、全員が参加する授業づくりを実践する。

4 質問紙調査の結果より

質問紙調査で数値が高かった項目や低かった項目、その項目について身近な大人の対応を紹介します。

(○数値が高い項目 △数値が低い項目 →身近な大人の役割)

・自分にはよいところがあると思う

○本校の数値は比較的高い。学級でのよさ見つけや、文化委員などのお昼の放送によるよさの紹介など、仲間を価値付け認める活動が結果につながっている。

→結果だけではなく努力した過程に目を向け、よさをほめる。

・将来の夢や目標を持っている

○将来の夢を語る機会や、中学生からのハローワーク、職場体験学習などの活動によって、将来の見通しをもつ生徒が多い。

→身近な大人がいきいきと社会に貢献する様子を見せていく。より主権者教育を推進する。

・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

○いじめを見逃さない日、道徳や人権教育を定期的に行ったり学級人権宣言をみんなで話し合っ

→困っていること、苦しんでいることはないか耳を傾け、共感的に話を聞く。

(話を聞いてもらった経験が多い子ほど人の気持ちを理解しようとする傾向が高いとの研究結果があります。)

・学校が休みの日にどれくらい学習しているか

△例年より、スマートフォンの使用時間が増加傾向にあり、2時間以上使用している生徒の割合が3割に及ぶ。それに伴い、家庭での学習時間が減っている傾向にある。家庭で学習や娯楽、睡眠などのバランスを取り、計画的に生活していくことが望ましい。

△日頃からスマートフォンや携帯電話で SNS や動画視聴をしている時間が長い。

→【家庭へのお願い】 ネット、ゲーム、テレビは1日2時間以内と約束を決める。

購入の際や使用の際に必ずルールを決めて使用する。SNS 等での不適切な書き込みをしないよう見届けてもらう。